

**ELMO**

CVAS / CVAS周辺機器

リレー出力  
I / F ボード

IY-1601

取扱説明書

## 安全上のご注意

### 安全にお使いいただくために - 必ずお守りください

この「取扱説明書」および製品（本機）への表示では、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示とをよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ！ 警 告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態や故障状態まま使用すると、火災・感電の原因となります。煙などが出なくなるの確認して、販売店に修理をご依頼ください。



注意

プラグを抜く

万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず外部からの入力を抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず外部からの入力を抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいる環境ではご注意ください。）



プラグを抜く

万一、機器を落としたり、キャビネットなどを破損した場合は、外部入力を抜いて販売店にご連絡ください。

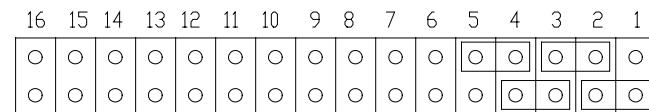
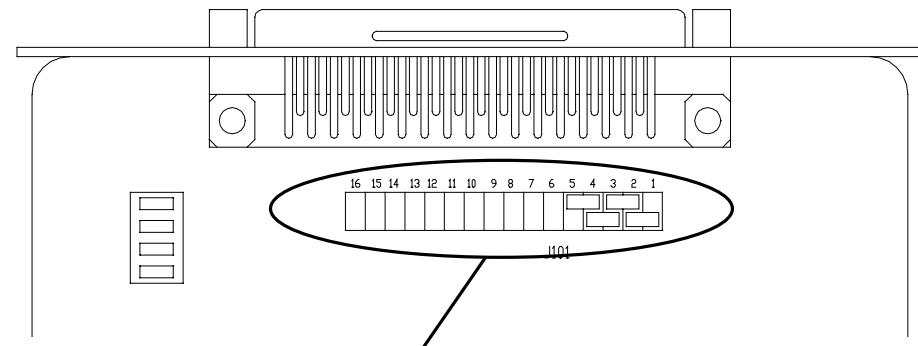
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

## 10. コモン用短絡ソケットの使用方法

本製品には16回路あるオープンコレクタ出力のコモンをとる事のできる短絡ソケットを付属しています。下図の要領でコモンをとってください。



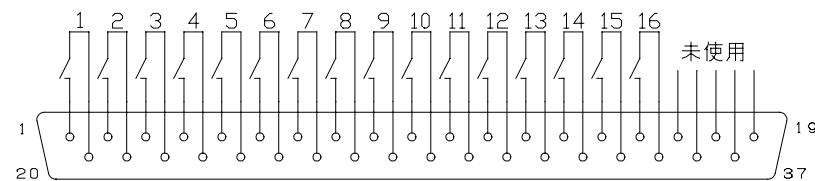
J101

- 1 任意の番号のジャンパーピンに短絡ソケットを図のような向きで挿入してコモンをとってください。
- 2 ジャンパーピンの番号とリレーの番号は同じです。
- 3 上の図では1～5までコモンが取れています。

## 7. 出力コネクタについて (D sub 37P)

制御機器と接続します。尚、未使用のピンには何も接続しない様にして下さい。

D sub 37Pコネクタ（オス）のピンアサインの内容は下図の通りです。



## 8. 動作状況モニタについて

動作状況モニタ（橙LED）をIF-5000にマウントした状態で見て上から 、 、 、 として以下の意味を表しています。

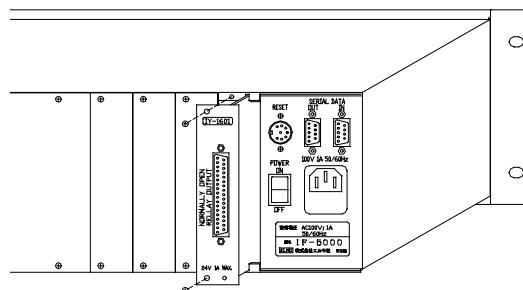
表示内容	状態
データ受信	通常 消灯 IF-5000よりデータ受信時 100ms 点灯
データ送信	通常 消灯 上位ボードよりデータ受信時 100ms 点灯
リレー動作	Aポートのリレー（リレー1～8）が1つでもON状態なら 点灯
リレー動作	Bポートのリレー（リレー9～16）が1つでもON状態なら 点灯

本体リセット作動時 ~ まで順番に1回ずつ点灯。

## 9. 接続方法

IF-5000にマウントする際以下の手順に従って接続してください。

尚、モードスイッチ、IDスイッチの設定は、IF-5000にマウントする前に行ってください。



IF-5000のボード挿入スロットの右側から順にプランクパネルのネジを外し、IFボードを切り込みに沿って挿入してください。

プランクパネルの止めネジまたは、付属ネジに沿って挿入してください。

・ボードの挿入はすべての機器の電源を切ってから行ってください。

## △警 告

機器内部に水が入ったりしないようにご注意ください。

火災・感電の原因となります。

禁止



機器を改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

分解禁止



設置作業時以外は、機器の、裏ぶた、キャビネット、カバーは、外さないでください。

内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。

分解禁止



風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

禁止



雷が鳴ったら、本体・接続ケーブルなどには触れないでください。

感電の原因となります。

接触禁止



## △注 意

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

禁止



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に設置しないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

禁止



移動させる場合は、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行ってください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜け



## ⚠ 注意

お手入れの際は、安全のため外部入力を抜いて行ってください。  
感電の原因となることがあります。



機器を長時間、ご使用にならないときは、安全のために外部入力を抜いてください。

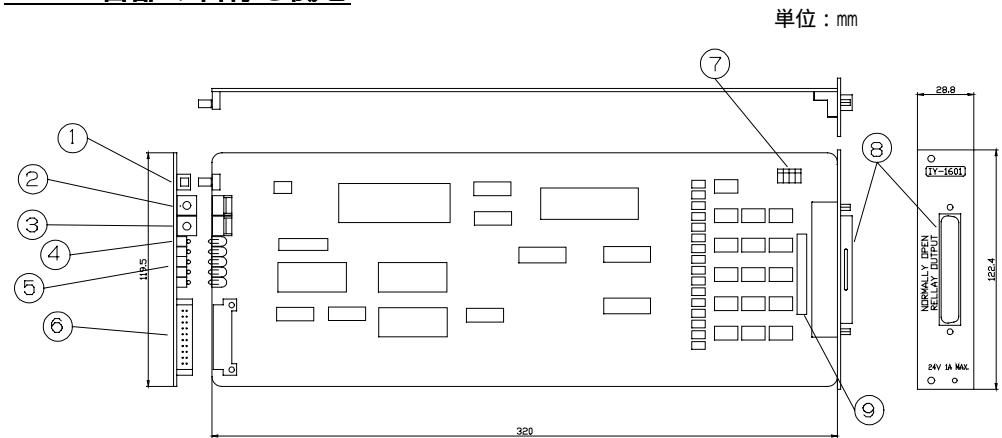


## 1. 概要

本製品 IY-1601 は、シリアル I/F ボードホルダ IF-5000 専用のシリアル I/F ボードで、IF-5000 にマウントして使用します。

本製品は IF-5000 からのシリアル信号を受信して、受信データの内容をパラレルデータに変換し接点の形で出力します。

## 2. 各部の名称と働き



- リセットスイッチ
- 上位 I/D スイッチ
- 下位 I/D スイッチ
- 電源インジケーター（緑）
- 動作状況モニタ LED x 4 ( 橙 )
- 本体接続コネクタ ( 20P 角型コネクタ )
- モード設定用ディップスイッチ
- リレー出力用 D sub 37P コネクタ
- コモン用ジャンパーピン

- スイッチを押す事により本体をリセットします。
- I/D の設定をします。（ 0 ~ Fまでの 16 通り）
- I/D の設定をします。（ 0 ~ Fまでの 16 通り）
- 電源が供給されている時、点灯します。
- I/F ボードの動作状況を表示します。
- IF-5000 のマザーボードとの接続に使用します。
- IY-1601 のモードの設定に使用します。
- 受信データの内容を接点の形で出力します。
- 付属の短絡ソケットによりコモンを設定する事ができます。

## 3. 仕様

電 源	D C 2 4 V、D C 5 V ( I F - 5 0 0 0 よりマザーボードにて供給 )
C P U	8 b i t マイクロプロセッサ
通信方式	周波数 1 2 . 2 M H z ボーレート： 9 6 0 0 b p s データビット長： 8 ビット ストップビット： 1 ビット パリティ： N O N E
I D 選択	2 5 6 通り ( I D スイッチにて設定可能 )
出力型式	1 6 回路無電圧接点出力 ( a 接点 ) 各接点は独立・絶縁
接点容量	最大 2 4 V 1 A ( 抵抗負荷 )
外形寸法	2 8 . 8 mm ( 幅 ) × 1 2 2 . 4 mm ( 高 ) × 3 2 0 mm ( 奥行 )
質 量	約 2 0 0 g
動作温度	0 ~ 4 0 ( 但し結露しない事 )
保存温度	2 0 ~ 6 0 ( 但し結露しない事 )
コネクタ	D s u b 3 7 P ( オス ) × 1 リレー接点出力用 2 0 P 角型コネクタ ( オス ) × 1 I F - 5 0 0 0 との通信用
表 示	電源インジケーター ( 緑 ) × 1 動作状況モニター ( 橙 ) × 4
付 属 品	ネジ ( クロ ) × 2 D s u b 3 7 P コネクタ ( メス ) × 1 D s u b 3 7 P シェル × 1 コモン取り用短絡ソケット × 1 5

仕様及び外観等は、改良の為予告無く変更する事が有りますのでご了承ください。

## 4. リセットスイッチ

電源供給時リセットスイッチを押す事によって IY-1601 をリセットする事ができます。  
IY-1601 のリセットが作動した場合、動作状況モニタの L E D が順次点灯します。

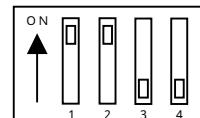
## 5. I/D について

本器には上位 I/D スイッチと下位 I/D スイッチの 2 個ついています（工場出荷時は “ 0 0 ” ）  
それぞれの I/D スイッチを 0 ~ F に回すことで 0 0 ~ F F の 2 5 6 通りの設定が可能です。

I/D スイッチの設定は電源投入時及び、リセット時に有効になります。

## 6. モード設定

I/F の動作モードを設定します。スイッチの機能は下表の通りです。尚、本スイッチは特に必要の無い場合以外は触れずに、出荷時の設定で使用してください。



工場出荷時

No.	ON	OFF
1 (アンサー)	有り	無し
2 (ボーレート)	9600bps	
3 (未設定)		
4 (未設定)		

ON で使用されモードスイッチの設定は電源投入時及び、リセット時に有効になります。  
No 3 . No 4 スイッチを ON にすると誤動作する事が有ります。